

5月20日 新仁多庁舎が竣工しました

平成27年3月の工事着工から約2年1ヶ月、奥出雲町仁多庁舎が完成しました。

新仁多庁舎は、地上4階建て、建物内は機能的で開放的な空間とし、段差をなくしたユニバーサルデザインで、皆様にとって利用しやすい庁舎となりました。

また、環境にも配慮し、トイレの洗浄水は雨水を活用し、庁舎の外壁は多くのガラスを使いながら、遮熱・断熱性の高いものを採用しています。

5月20日には、タウンホールで竣工記念式典を挙行し、島根県知事代理穂葉寛佳島根県地域振興部長、絲原徳康島根県議会議員をはじめ関係者180人が完成を祝いました。

式では、勝田町長が「竣工の日を迎えることができたのも、関係各位のご理解ご協力の賜物であり、改めまして厚く御礼を申し上げます。今後は、この新しい庁舎を地域と連携したイベントの場として活用し、横田庁舎と共に、来庁される皆様にとりまして、使いやすい身近な庁舎となりますよう、職員一同業務に邁進する所存です」

と式辞を述べました。

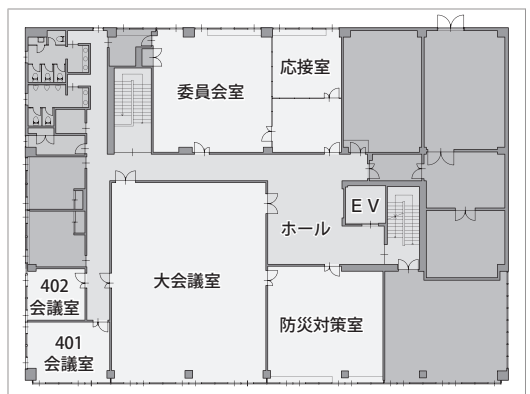
続いて、事業経過報告の後、来賓祝辞を賜り、土地提供者と施工業者に感謝状を贈呈しました。

式典後には、仁多庁舎前駐車場で、奥出雲町商工会三成支部の皆様協力により、竣工記念イベントが開催されました。

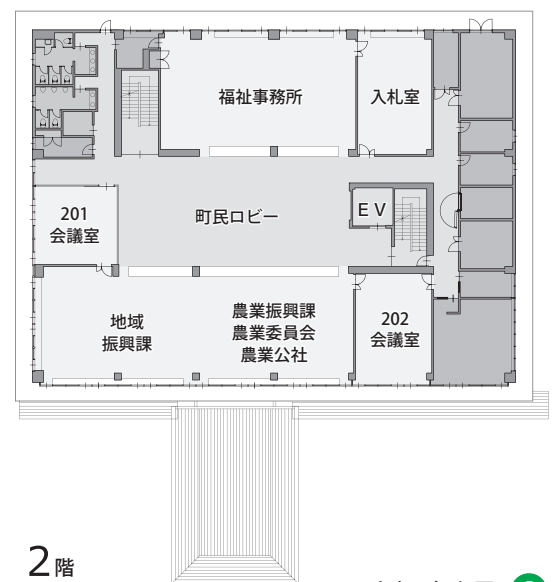
朝採れ野菜の販売やカレーやラーメンなどの出店、また、ステージでは、仁多乃炎太鼓や横田高校吹奏楽部の演奏などが披露され、竣工に花を添えました。



▲竣工記念イベントの様子



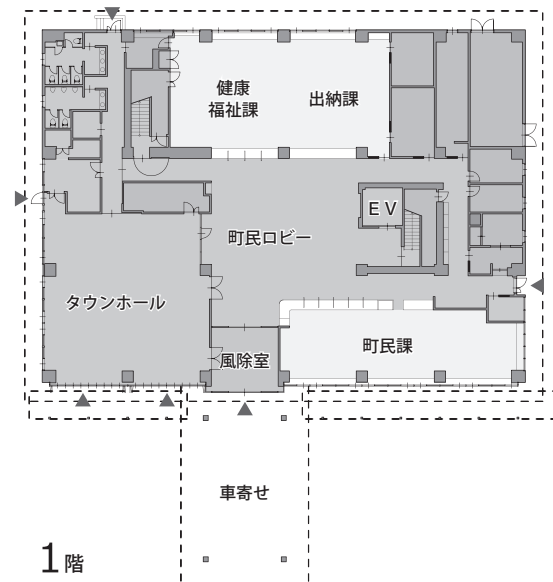
4階



2階



3階



1階



町民ロビー（1階）

フローリングとルーバーに町内産材を利用しています。



執務室

オープンスペースにすることで視認性を高める効果があります。



会議室

大小様々な会議室を設けており、あらゆる利用形態に対応できます。



エレベーターホール

わかりやすい大型サインを各階に設置しました。フロアによってサイン色を統一しています。



タウンホール（1階）

イベント・展示会場、待ち合わせ場所などに利用できます。

仁多庁舎建設の特徴

すべての人にやさしい庁舎

誰にとってもわかりやすく利用しやすい「ユニバーサルデザイン」の理念を取り入れています。車椅子に対応した窓口カウンターや各階には大型の案内看板を設置しました。

町と一体となる庁舎

外観は周辺の自然環境や町並みと調和させるデザインです。庁舎1階には町内産の杉を使用したフローリングやルーバーを設置しました。

防災拠点としての庁舎

災害時の防災拠点施設としての機能を維持するため防災対策室を設け、緊急時には速やかな対応を可能としました。また、制震壁を設置し、高い耐震性を備えた安心・安全な構造としています。非常発電設備により停電時には72時間の電力を供給することが可能です。1階の外通路には落下物防止のため、庇を設置しました。

省エネに配慮した庁舎

ガラス面を大きくしたこと、自然採光を多く取り入れることになりました。照明はLEDを採用し消費電力を抑え、空調は中央監視方式により無駄な可動を抑制しています。また、雨水をトイレの洗浄水や散水として利用し、駐車場をコンクリート舗装とすることで熱負荷を低減しています。

施設の概要

所在地：島根県仁多郡奥出雲町三成 358 番地 1
敷地面積：4,936.74 m²
建築面積：1,648.81 m²
延床面積：4,964.30 m²(庁舎棟 4624.86 m²・車庫棟 339.44 m²)
構造：鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
階数高さ：地上4階・19.54m
駐車台数：来庁者用 65 台(うち思いやり駐車場2台)
総事業費：25.9 億円